

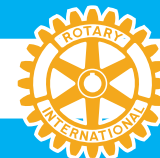


2021-2022年度春のRYLAセミナー 2022年5月3日(火・祝)～5日(木・祝)

【参加者】
河村会長 表 会員 石田会員 北川会員
大橋会員 田原地区RYLA委員長 井戸田会員
＜青少年参加＞
牧山 敬也 さん(井戸田会員推薦)
米山奨学生 ズオン ニアット リンさん



Rotary



HIGASHI-OSAKA EAST R.C.

国際ロータリー 第2660地区 東大阪東ロータリークラブ

CLUB WEEKLY No.2717

国際ロータリー会長
シェカール・メータ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会長 河村 幸司

「会員基盤の増強、
楽しい親睦と奉仕
そして教育の支援を」



青少年奉仕月間

例会日：2022年5月12日
(令和4年5月12日)

今日の例会

2022年5月12日

来週の例会

- 本日の卓話
「生まれ育った東大阪での活動継続中」
ナレッジ代表 安原 武男 様
(森本 竜一会員紹介)

- 5月19日(木)
卓話「創立20年から55年 記念式典の歩み」
表 康之 君

- 今日の歌 「君が代」「四つのテスト」
ピアノ 岩島 佳子 先生

- 例会後 次年度新理事会



- 例会前 第8回よろず相談室実行委員会
- 例会後 5月度定例理事会

会長の時間

河村会長

5月は、若い人々の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てる『青少年奉仕月間』である。国際ロータリーの第5奉仕部門である青少年奉仕は、ロータリーが若い世代を重視していることを表している。それは青少年が将来出現する課題を克服できるよう、私達がロータリアンとして、青少年への奉仕、青少年の未来に対する奉仕、さらに人類全体への奉仕を通じて様々なツールを提供しようと努力することである。一つの奉仕部門において、青少年に対するプログラムやプロジェクトを組み合わせることで、クラブや地区はより強いアプローチでこの価値ある活動に関与することができる。青少年奉仕には以下が含まれる。

1. 青少年の間での高い倫理基準及び倫理的な意思決定を奨励する。
2. 青少年のニーズや願望や関心を理解し認識する。
3. 青少年に機会を提供する。
4. 国際ロータリーが提供する人道的、指導力養成、教育関連のプログラムへの青少年の参加を奨励する。となっております。

また青少年のための主な奉仕プログラムとして

1. インターアクト・2. ローターアクト・3. ロータリー青少年指導者養成プログラム・4. ロータリー青少年交換・5. ロータリー平和フェローシップ・6. グローバル補助金奨学生・7. 職業研修チーム(メンバーまたはリーダー)・8. 地区補助金奨学生・9. 青少年奉仕交換など沢山のプログラムがあります。各ロータリークラブは、この月間中クラブのニュースレターやその他の広報資料に「各ロータリアンは青少年の模範」のスローガンを利用するように奨励されております。以上が5月度青少年奉仕の基本方針であります。

東大阪東ロータリークラブ

HP: <http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会 長: 河村 幸司
幹 事: 古川 靖明
会報資料担当: 山岡 信也

創 立: 昭和40(1965)年3月4日 例会場: ホテルセイリウ 例会: 毎週木曜日 12:30～
事務局: 〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12 ホテルセイリウ302号室
TEL072-985-0189 FAX072-985-0577 E-mail: higashiohrc@air.ocn.ne.jp

～ 安原 武男氏プロフィール ～

1998年大学卒業後、ショッピングモールを運営する会社に就職
就職内定中(大学4年時)にアルバイトとして 無理矢理 入社
社員として正式入社後、数か月で事実上の倒産その後、元々パソコンや機械が苦手だったため、ソフト開発会社にSEとして入社し2000年対応などを経験
25歳の時に塾の先生に後押しされ独立

1975年 3月 9日生 現在47歳 嫁・長男・次男・猫

ナレッジ 代表
東大阪バーチャルシティ 運営・管理
布施プロレス実行委員会 運営責任者
布施商店街企画委員会 メンバー
布施商店街活性化学生グループ「ふ・せ・の・わ」責任者
マスクド東大阪 公式代理人

過去の経歴
プロ野球独立リーグ「06ブルズ」代表理事・副代表理事
近畿大学内e-yanプロジェクト 社会人サポーター

幹事報告

古川幹事

先般の春のRYLAセミナーならびに東大阪市民ふれあい祭りパレードにご参加の皆様、お疲れ様でございました。

《これからの予定》

【1】 5/12(木)例会前、第8回よろず相談室実行委員会、例会後、5月度定例理事会

【2】 5/19(木)例会後、次年度新理事会

【3】 5/24(火)衛星クラブ例会 19:00～
《連絡事項》

【1】 本日例会後、5月度定例理事会を開催いたします。理事・役員の方はよろしくお願いたします。

【2】 5/29(日)第14回よろず相談室です。多数のご参加よろしくお願い致します。

ロータリーの友 2022年5月号記事紹介
(吉川地区ガバナーご紹介記事から抜粋)

広報委員会
広報・雑誌担当 井上 家昌

＜横組記事＞

1. p7～15 特集: 青少年奉仕期間: 若年化する薬物パンデミック

4月は青少年奉仕月間です。コロナ禍の中、日本の若者の間で薬物の乱用が広がっています。8～11ページでは、20歳未満の若者の間で急増する大麻乱用について実態が紹介され、有害性がないたばこや酒より安全とって誤った情報拡散の危険性が指摘されています。

2. p14～22[アメリカ「ROTARY4月号」記事紹介]

ウクライナ紛争に関する特集です。現在ウクライナは、64のロータリークラブがあり、会員数は約1100名です。ドンバス及びクリミア地区にも7つのクラブがあり、110名の会員がいましたが、現在残るクラブは2クラブのみで会員は14名です。恐怖と混乱の中でも、

ウクライナのロータリアンは、平和への揺るぎない決意を示し続けています。

3. p23～27 視点: ガバナーのロータリー・モーメント
各地区のガバナーが、ロータリーと地区運営にかける思い、地区行事や活動、自らのロータリアンとしての貴重な体験等を紹介するコーナーです。今月は、関西から九州地区までの10地区のガバナーです。

当2660地区吉川秀隆ガバナーも満を持しての登場です。

4. p37～39『ロイ散策第11回: 夕日に見たガイの笑顔

今月は「ロータリーの通解」を読んだ2800地区(山形)寒河江(さがえ)RC鈴木会員の思いが綴られています。ロータリーの在るべき姿「素晴らしい真のロータリアンに成長したクラブの会員が事業、業界をして社会の向上に貢献するのは義務である」「例会は親睦を育む場、学びを深める場であり、それらが、一体で充実していればこそ、栄養に満ちた土壌となり、ロータリーという苗木が立派に成長してゆく」に感銘をうけ、会長年度の一年を、この考え方を基にクラブの運営を行い、有意義な年度とすることが出来たとのことでした。

IM情報集会(炉辺会合)第3班・第4班 報告
2022年4月27日(水)
於: 鍋屋okamoto心斎橋店

◎第3班参加者
広田リーダー 前田サブリーダー 表 康之
北川 忠嗣 古川 靖明 戸田 尊文
朝田議長 佐藤 俊一

◎第4班参加者
藤本リーダー 滝川サブリーダー 井上 家昌
大橋 秀典 河村会長

女性会員の増加
次年度の国際大会への呼びかけ
6月の家族会
よろず相談の打ち合わせ
小田原中RCとの交流
など多くの議題について話し合いをしました。



東大阪市民ふれあい祭りパレード
2022年5月8日(日)

【パレード参加者】
河村会長 表 会員 石田会員 岡田会員
北川会員 朝田議長 大塚議長エレクト
田原幹事 杉林会員 以上9名



出席報告

4月28日

先週(5/5)休会
(4/28)の出席者数: 27名(1)
内ZOOM出席1名

ビジター1名: 2021-22秋のRYLAセミナー
実行委員長
地区青少年交換副委員長
摂津RC 望田 成彦 様

4/28 出席率: 58.70%

※()内数字は出席免除会員の出席者数
会員: 57名(免除12名)

	4/14	4/21	4/28
HC出席	25(1) 名	29(1) 名	27(1) 名
MU出席	2(0)名	2(0)名	1(0)名
修正出席率	58.70%	67.39%	60.87%

